

令和 5 年 度

小 牧 市 民 病 院 改 革 プ ラ ン
(2021年度～2025年度版)
決 算 比 較

令和6年 10月
小 牧 市

目 次

- 1 小牧市民病院改革プランと令和5年度決算比較及び総括 ……………P 1
- 2 医療機能等指標に係る目標値と令和5年度実績値の比較 ……………P 2
- 3 経営の効率化に対する取組の目標値と令和5年度決算の比較 ……………P 4
- 4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討 ……………P 7
- 5 改革プランと令和5年度決算との比較 ……………P 9
- 6 令和5年度決算と令和4年度決算との比較 ……………P10
- 7 患者数等対目標値年度比較表 ……………P11
- 8 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P12
- 9 年度別経営実績の推移 ……………P13

(資料) 小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移

1 小牧市民病院改革プランと令和5年度決算比較及び総括

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」への転換期となりました。医療従事者の濃厚接触者による勤務制限が緩和され、新型コロナウイルス感染拡大前の医療提供体制を確保できるようになった一方で、新型コロナウイルス感染症に関連する国・県からの補助金の多くが終了したことに加え、昨今の人件費の上昇や物価の高騰が大きな負担となっています。

こうした中で、当院は救急医療、がん診療、高次医療を中心に質の高い医療を提供しつつ、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を図りながら、安定的かつ効率的な病院運営に努めてまいりました。

令和5年度の経営成績について令和4年度と比較すると、外来診療においては、患者数が減少したものの化学療法の件数の増加等により外来患者一人1日あたりの診療収入が増加し、外来収益は増加しました。また、入院診療においては、入院患者数の増加に加え、令和4年度より順次開始している入院料加算の新規算定や救急からの入院患者数の増加等により入院患者一人1日あたりの診療収入も増加し、入院収益も増加しました。一方、給与費や委託費、材料費等が軒並み増加して経費が大きく増加し、令和4年度比の医業収支比率は上昇したものの医業費用が医業収益を上回り、医業損失となりました。

また、新型コロナウイルス感染症に関する補助金等の終了により医業外収益も大きく減少した結果、経常損失となりました。そのほか、医師等の当直勤務における手当等の遡及支払による特別損失も計上し、令和5年度決算は18億3,600万円余の純損失となりました。

今後の病院経営における経常収支の黒字化は、医業収支の改善なくしては実現することはできません。少子高齢化に伴う医療需要の変化や医師・看護師等の不足など、様々な課題に直面する中で、地域の医療提供体制を確保し、安全で質の高い急性期医療を継続的に提供するために、より一層経営の効率化を図り、尾張北部医療圏の中核病院として地域の皆様の期待に応えられるよう努力を重ねてまいります。

2 医療機能等指標に係る目標値と令和5年度実績値の比較

改革プランでは、当院の果たすべき役割に沿った医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から、医療機能に関する成果（5疾病、5事業、救急医療入院率、初期臨床研修医受入数など）について数値目標を掲げました。

◇医療機能確保対策について

○救急医療に係る目標値比較

(単位:人、%)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
救急外来患者数	25,000	19,715	20,263	78.9%
救急医療入院率	33.0	42.1	38.6	127.6%

○周産期医療に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
分娩件数	380	332	346	87.4%

○小児医療に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
小児入院患者数	7,000	6,571	4,999	93.9%

○5疾病に係る目標値比較

(単位:人)

	年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
5 疾 病	が ん	3,500	2,900	2,806	82.9%
	脳 卒 中	700	574	576	82.0%
	急性心筋梗塞	200	116	140	58.0%
	糖 尿 病	110	54	80	49.1%
	精 神 疾 患	35	42	31	120.0%

※5疾病とは、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の延べ入院患者数。

○がん治療連携に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
がん治療連携 医療機関数	180	166	166	92.2%

○医師の育成に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
初期臨床研修医 受 入 数	24	24	24	100.0%

【医療機能確保対策の分析】

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、職員の濃厚接触による勤務制限が緩和されたことで診療を制限しなければならないケースは殆どなくなりました。しかし、感染予防の意識が極めて高くなった現状では、感染症患者を多く診療する内科や小児科などの患者数は新型コロナウイルス感染拡大以前の水準には戻る見込みがない状況であり、改革プランは新型コロナウイルスによる影響を加味していないため乖離が生じ、救急外来患者数、小児入院患者数、5疾病やがん治療連携に係る指標などの実績値は目標値を達成できませんでした。一方で、重度な救急受入れ患者の指標となる救急医療入院率は目標値を大きく上回っており、当院が目指す高度急性期・急性期機能の役割は果たせたものと考えています。また、初期臨床研修医受入数も目標値を達成しており、次世代の地域医療を担う医師の教育機関としても十分に機能できたと言えます。

3 経営の効率化に対する取組の目標値と令和5年度決算の比較

改革プランでは、病院経営の健全化を確保する観点から主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の維持と平均在院日数の適正化について

○入院収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 決 算 ②	令和4年度 決 算	達成率 ②/①
入 院 収 益	13,186	13,665	13,169	103.6%

○入院患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
入 院 患 者 数	171,240	152,950	148,390	89.3%
1日平均患者数	468	418	407	

○病床利用率の目標値比較

(単位：%)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
病 床 利 用 率	83.4	73.3	71.5	87.9%

○平均在院日数の目標値比較

(単位：日)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ①/②
平均在院日数	11.3	10.4	10.7	108.7%

【病床利用率の維持と平均在院日数の適正化の分析】

クリニカルパス※1による医療の標準化や入退院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率的かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。また、高度医療機器の活用としてダヴィンチを用いた手術が増加し、患者の体への負担が軽減されたことで入院期間の短縮が可能となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた入院患者数が感染拡大前の水準まで戻っておらず、入院患者数及び病床利用率はそれぞれ目標値を下回りました。

平均在院日数については、DPC効率性係数対策の一環として常に短縮化に努めており、他病院と比べて当院の在院日数が長い症例に対してはDPC委員会やDPCデータ分析委託による診療科ミーティングなどの機会により各診療科医師への現状報告と適正日数を提示するとともに、クリニカルパスの導入などをお願いしています。その結果、病院全体の平均在院日数は令和4年度比0.3日の短縮となり、目標値を達成しました。また、令和4年12月より順次算定を開始した夜間100対1急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算、看護補助充実体制加算に加え、令和5年度には医師事務作業体制加算を20対1から15対1へ格上げを行うなど入院基本料加算の収益増加の取組を推進したことで一人1日当たりの入院診療収入が増加し、入院収益は目標値を上回りました。

※1：医療提供を効率的に行うための工程管理手法

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 決 算 ②	令和4年度 決 算	達成率 ②/①
外 来 収 益	6,958	7,519	6,963	108.1%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 実 績 ②	令和4年度 実 績	達成率 ②/①
外 来 患 者 数	309,260	273,970	275,916	88.6%
1日平均患者数	1,273	1,127	1,135	

【外来患者数の分析】

治療の標準化と病床の有効活用の観点から、入院検査、術前・術後の検査など外来で行うことができる検査は外来で行うように徹底しました。また、紹介患者の円滑な受入れ体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での治療が必要な患者を積極的に受け入れました。さらには、救急搬送患者の応需率向上に向けた検討などを行い、地域の中で当院が果たすべき役割を強化しつつ、集患のための取組を進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた外来患者数が感染拡大前の水準まで戻らず、目標値を下回りました。一方で、がん治療等における高額薬剤の使用が増えたことなどにより一人1日当たりの外来診療収入は増加し、外来収益は目標値を上回りました。

ウ 診療報酬請求について

診療報酬請求の精度向上のため、医師や看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。また、毎月各診療科で開催するカンファレンスに事務職員が参加し、診療報酬の査定傾向などの情報共有に努めました。令和5年度における返戻率は1.50%（前年度比0.15ポイントの増加）、査定率は0.30%（前年度比0.02ポイントの増加）となりました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みました。また、小牧市債権回収特別対策室や小牧市保険医療課と連携して未収金対策に取り組んだほか、令和5年度より弁護士による債権回収業務を委託するなど、未収金対策を進めています。令和5年度末時点における未収金額は117,460千円余（令和4年度比1.6ポイントの増加）となりました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかしながら、委託料にかかる人件費や物価の高騰が想定を大きく上回り、対医業収益比率は令和4年度比0.1ポイント上昇し、委託費も増額となりました。

（単位：百万円）

年 度	令和5年度 決 算	対医業収益 比率	令和4年度 決 算	対医業収益 比率
委託費	2,756	12.6%	2,611	12.5%

カ 薬品の見直しについて

薬局を中心に後発医薬品の採用を拡大するとともに、納入業者との単価交渉等に取り組みました。一方で、がん治療薬などの高額な薬剤を用いる患者数の増加などにより、薬剤費全体では増額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

管財課を中心に、材料価格について納入業者との単価交渉や、使用材料の見直しなどに取り組みましたが、物価高騰の影響により購入単価が令和4年度ほど減額とならなかったことにより、対医業収益比率は令和4年度比 0.4ポイント低下したものの、材料費は増額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

年 度	令和5年度 決 算	対医業収益 比率	令和4年度 決 算	対医業収益 比率
材料費	7,445	33.9%	6,831	32.6%
うち薬品費	4,694	21.4%	4,112	19.6%
うち材料費	2,745	12.5%	2,712	12.9%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会において、改革プランの収支計画を基に購入目安額を設定し、緊急性、重要性などから購入すべき医療機器の選定を行いました。また、購入時には商品単位でその仕様や価格を調査・検証し、安価な代替製品への検討と納入業者との価格交渉に取り組みました。

4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討

○経営指標の目標値比較

(単位：%、百万円)

年 度	令和5年度 計 画 ①	令和5年度 決 算 ②	令和4年度 決 算	達成率 ②/①
経常収支比率	96.8	95.2	101.1	98.3%
現金保有残高	7,354	10,426	10,280	141.8%

【再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの分析】

令和5年度の病床利用率は73.3%（退院患者数を含む割合では80.4%）であり、新公立病院ガイドラインの再編水準である70%（退院患者を含む割合）を超えています。また、令和5年度の経営指標を見ると、経常収支比率は達成率が98.3%と目標値に達しなかったものの、現金保有残高は達成率が141.8%と目標値を大きく上回っていることから、現時点における再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの必要性は無いと考えられます。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		令和4年度	令和5年度
収 益	医業収益	20,860	21,076
		21,022	22,100
	医業外収益	2,033	2,008
		3,926	2,476
経常収益 (A)	22,893	23,084	
	24,948	24,576	
費 用	医業費用	22,822	22,753
		23,452	24,379
	医業外費用	1,103	1,092
		1,220	1,423
経常費用 (B)	23,925	23,845	
	24,672	25,802	
経常損益 (A)－(B) (C)		△1,032	△761
		276	△1,226
経常収支比率(%) (A)/(B)		95.7	96.8
		101.1	95.2
特 別 損 益	特別利益 (D)	110	114
		174	115
	特別損失 (E)	5	5
20		725	
特別損益 (D)－(E) (F)		105	109
		154	△610
純損益 (C)＋(F)		△927	△652
		430	△1,837
資本的収入		923	985
		965	894
資本的支出		2,050	2,034
		2,086	2,122
資本的収支差引額		△1,127	△1,049
		△1,121	△1,228

5. 改革プランと令和5年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円）

年度		5年度 改革プラン 計画①	5年度 決算②	②/①
区分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	21,076	22,100	104.9%
	(1) 料 金 収 入	20,144	21,184	105.2%
	入 院 収 益	13,186	13,665	103.6%
	外 来 収 益	6,958	7,519	108.1%
	(2) そ の 他	932	916	98.3%
	うち他会計負担金	162	166	102.5%
	2. 医 業 外 収 益	2,008	2,476	123.3%
	(1) 他会計負担金・補助金	769	651	84.7%
	(2) 国（県）補助金	23	256	1113.0%
	(3) 長期前受金戻入	1,043	1,217	116.7%
(4) そ の 他	173	352	203.5%	
経 常 収 益 (A)	23,084	24,576	106.5%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	22,753	24,379	107.1%
	(1) 職 員 給 与 費 c	10,170	10,361	101.9%
	(2) 材 料 費	6,420	7,445	116.0%
	(3) 経 費	3,497	3,808	108.9%
	(4) 減 価 償 却 費	2,591	2,623	101.2%
	(5) そ の 他	75	142	189.3%
	2. 医 業 外 費 用	1,092	1,423	130.3%
	(1) 支 払 利 息	73	72	98.6%
	(2) 保 育 費	74	81	109.5%
	(3) そ の 他	945	1,270	134.4%
経 常 費 用 (B)	23,845	25,802	108.2%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 761	△ 1,226	161.1%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	114	115	100.9%
	2. 特 別 損 失 (E)	5	725	14500.0%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	109	△ 610	△559.6%
純 損 益 (C)+(F)	△ 652	△ 1,836	281.6%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	11,973	14,828	123.8%
	流 動 負 債 (イ)	3,298	4,396	133.3%
	うち一時借入金	-	-	-
	翌年度繰越財源(ウ)	-	-	-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	-	-	-
差引 不 良 債 務 (オ)	△ 8,675	△ 10,432	120.3%	
[[(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]				
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	96.8%	95.2%	98.3%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	92.6%	90.7%	97.9%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	48.3%	46.9%	97.1%	
病 床 利 用 率	83.4%	73.3%	87.9%	

2. 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円）

年度		5年度 改革プラン 計画①	5年度 決算②	②/①
区分				
収 入	1. 企 業 債	0	0	-
	2. 他 会 計 出 資 金	-	-	-
	3. 他 会 計 負 担 金	985	893	90.7%
	4. 他 会 計 借 入 金	-	-	-
	5. 他 会 計 補 助 金	-	-	-
	6. 国（県）補助金	0	0	-
	7. そ の 他	0	1	皆増
	収 入 計 (a)	985	894	90.8%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	-	-	-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)	-	-	-
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	985	894	90.8%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	220	367	166.8%
	2. 企 業 債 償 還 金	1,677	1,632	97.3%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	-	-	-
	4. そ の 他	137	123	89.8%
	支 出 計 (B)	2,034	2,122	104.3%
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,049	1,228	117.1%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,045	1,227	117.4%
	2. 利 益 剰 余 金	-	-	-
	3. 減 債 積 立 金	0	0	-
	4. 建 設 改 良 積 立 金	0	0	-
	5. そ の 他	4	1	25.0%
計 (D)	1,049	1,228	117.1%	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	-	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	-	-	-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金

（単位：千円）

年度		5年度 新改革プラン 計画①	5年度 決算②	②/①
区分				
収 益 的 収 支		931,000	817,648	87.8%
資 本 的 収 支		985,000	893,437	90.7%
合 計		1,916,000	1,711,085	89.3%

6. 令和5年度決算と令和4年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		4年度 決算①	5年度 決算②	②-①	②/①	
収 入	1. 医 業 収 益 a	21,022	22,100	1,078	105.1%	
	(1) 料 金 収 入	20,132	21,184	1,052	105.2%	
	入 院 収 益	13,169	13,665	496	103.8%	
	外 来 収 益	6,963	7,519	556	108.0%	
	(2) そ の 他	890	916	26	102.9%	
	うち他会計負担金	162	166	4	102.5%	
	2. 医 業 外 収 益	3,926	2,476	△ 1,450	63.1%	
	(1) 他会計負担金・補助金	758	651	△ 107	85.9%	
	(2) 国 (県) 補 助 金	1,724	256	△ 1,468	14.8%	
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	1,248	1,217	△ 31	97.5%	
	(4) そ の 他	196	352	156	179.6%	
	経 常 収 益 (A)	24,948	24,576	△ 372	98.5%	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	23,452	24,379	927	104.0%
		(1) 職 員 給 与 費 c	10,115	10,361	246	102.4%
		(2) 材 料 費	6,830	7,445	615	109.0%
(3) 経 費		3,662	3,808	146	104.0%	
(4) 減 価 償 却 費		2,693	2,623	△ 70	97.4%	
(5) そ の 他		152	142	△ 10	93.4%	
2. 医 業 外 費 用		1,220	1,423	203	116.6%	
(1) 支 払 利 息		84	72	△ 12	85.7%	
(2) 保 育 費		81	81	0	100.0%	
(3) そ の 他		1,055	1,270	215	120.4%	
経 常 費 用 (B)		24,672	25,802	1,130	104.6%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		276	△ 1,226	△ 1,502	△ 444.2%	
特 別 損 益		1. 特 別 利 益 (D)	174	115	△ 59	66.1%
		2. 特 別 損 失 (E)	20	725	705	3625.0%
		特 別 損 益 (D)-(E) (F)	154	△ 610	△ 764	△ 396.1%
純 損 益 (C)+(F)	430	△ 1,836	△ 2,266	△ 427.0%		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	15,320	14,828	△ 492	96.8%	
	流 動 負 債 (イ)	3,621	4,396	775	121.4%	
	うち一時借入金	-	-	-	-	
	翌年度繰越財源(ウ)	-	-	-	-	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	-	-	-	-	
	差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)	△ 11,699	△ 10,432	1,267	89.2%	
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	0	-		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.1%	95.2%	-	94.2%		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.6%	90.7%	-	101.2%		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	48.1%	46.9%	-	97.5%		
病 床 利 用 率	71.5%	73.3%	-	102.5%		

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

年度		4年度 決算①	5年度 決算②	②-①	②/①	
収 入	1. 企 業 債	0	0	0	-	
	2. 他 会 計 出 資 金	-	-	-	-	
	3. 他 会 計 負 担 金	924	893	△ 31	96.6%	
	4. 他 会 計 借 入 金	-	-	-	-	
	5. 他 会 計 補 助 金	-	-	-	-	
	6. 国 (県) 補 助 金	37	0	△ 37	皆減	
	7. そ の 他	4	1	△ 3	25.0%	
	収 入 計 (a)	965	894	△ 71	92.6%	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	-	-	-	-	
	前年度同意債で当年度借入分 (c)	-	-	-	-	
	純計(a)-(b)+(c) (A)	965	894	△ 71	92.6%	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	315	367	52	116.5%
		2. 企 業 債 償 還 金	1,626	1,632	6	100.4%
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	-	-	-	-
		4. そ の 他	145	123	△ 22	84.8%
支 出 計 (B)		2,086	2,122	36	101.7%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,121	1,228	107	109.5%		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,111	1,227	116	110.4%	
	2. 利 益 剰 余 金	-	-	-	-	
	3. 減 債 積 立 金	0	0	-	-	
	4. 建 設 改 良 積 立 金	0	0	0	-	
	5. そ の 他	10	1	△ 9	10.0%	
計 (D)	1,121	1,228	107	109.5%		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	-		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	-	-	-	-		
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	-		

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

年度		4年度 決算①	5年度 決算②	②-①	②/①
収 益 的 収 支		919,557	817,648	△ 101,909	88.9%
資 本 的 収 支		923,764	893,437	△ 30,327	96.7%
合 計		1,843,321	1,711,085	△ 132,236	92.8%

7. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院患者数	170,500	175,400	168,960	170,110	171,240
	165,626	149,759	154,898	148,390	152,950
1日平均患者数	466	481	463	466	468
	453	410	424	407	418

◇病床利用率の比較

(単位:%) (単位:%)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
病床利用率	82.0	84.5	82.3	82.9	83.4
	79.4	72.2	74.8	71.5	73.3

◇平均在院日数の比較

(単位:日) (単位:日)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均在院日数	10.8	10.7	11.2	11.2	11.3
	11.2	10.7	11.0	10.7	10.4

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人) (単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来患者数	300,000	291,600	308,090	308,680	309,260
	295,292	278,024	278,659	275,916	273,970
1日平均患者数	1,250	1,200	1,268	1,270	1,273
	1,230	1,144	1,150	1,135	1,127

8. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 経常収支比率 (%)	95.6	97.7	94.3	95.7	96.8
	91.8	97.4	101.0	101.1	95.2
(2) 医業収支比率 (%)	92.4	93.2	90.5	91.4	92.6
	88.7	87.3	88.9	89.6	90.7
(3) 職員給与費対医業収益比率 (%)	47.9	47.2	49.3	48.7	48.3
	50.0	50.1	48.9	48.1	46.9
(4) 資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(5) 入院患者一人1日当たりの診療収入 (円)	71,500	71,400	76,000	76,500	77,000
	72,623	80,836	83,860	88,748	89,343
(6) 外来患者一人1日当たりの診療収入 (円)	21,600	22,100	22,300	22,400	22,500
	22,288	24,289	24,712	25,235	27,446
(7) 現金保有残高(百万円)	-	-	8,108	7,601	7,354
	12,872	10,632	9,906	10,280	10,426

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
5疾病	がん(人)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	脳卒中(人)	700	700	700	700	700
	急性心筋梗塞(人)	200	200	200	200	200
	糖尿病(人)	110	110	110	110	110
	精神疾患(人)	35	35	35	35	35
		15	22	36	31	42
5事業	救急医療(人)	25,000	27,000	23,000	24,000	25,000
	周産期医療(件)	350	350	380	380	380
	小児医療(人)	8,000	8,000	7,000	7,000	7,000
	災害医療(件)	-	-	-	-	-
	へき地医療(件)	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-
臨床研修医の受入人数(人)	24	24	24	24	24	
	22	22	24	24	24	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

9. 年度別経営実績の推移

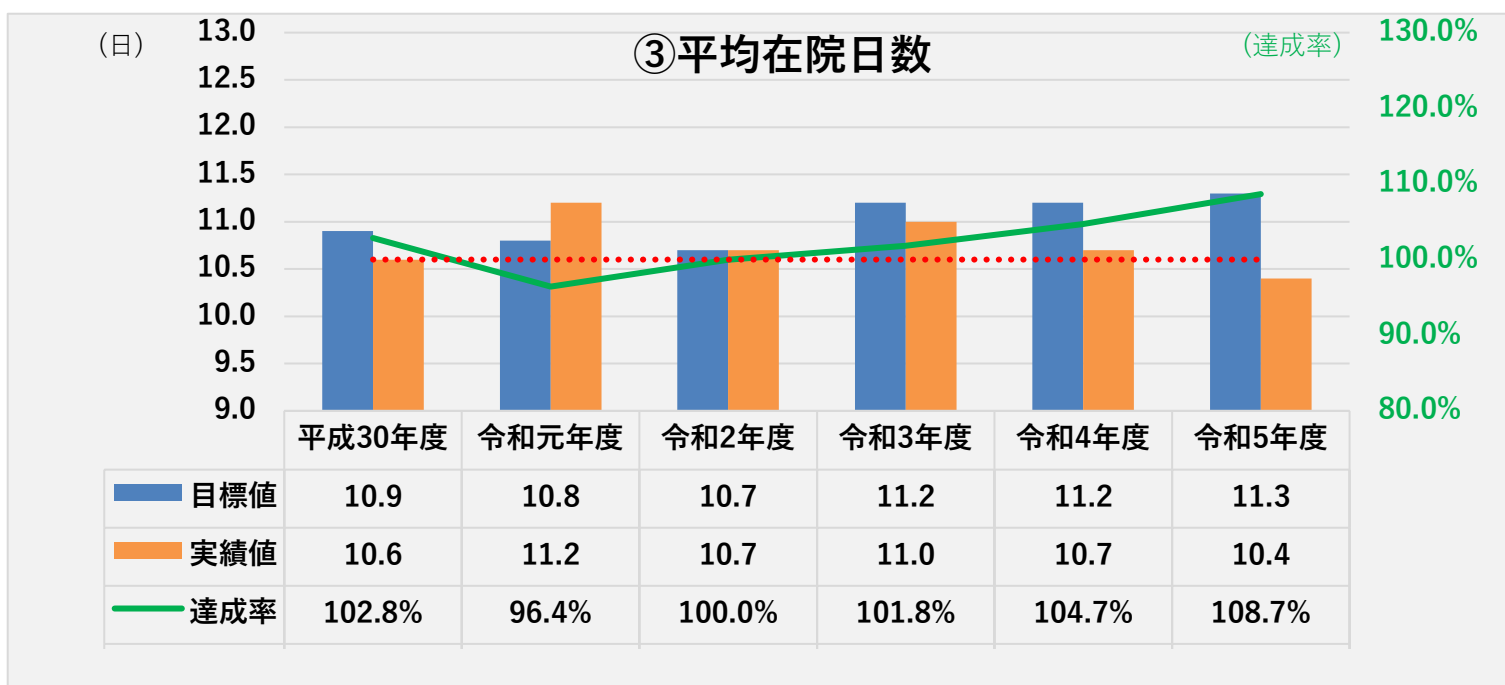
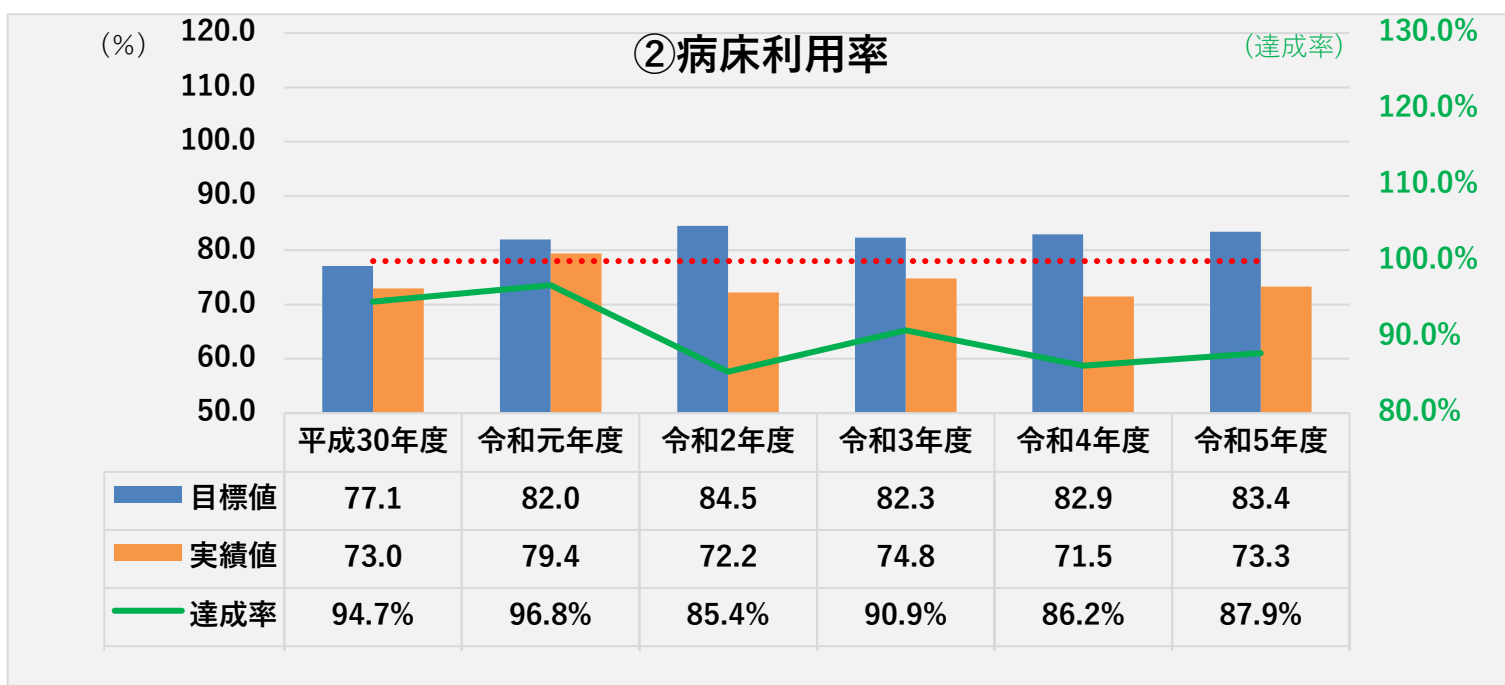
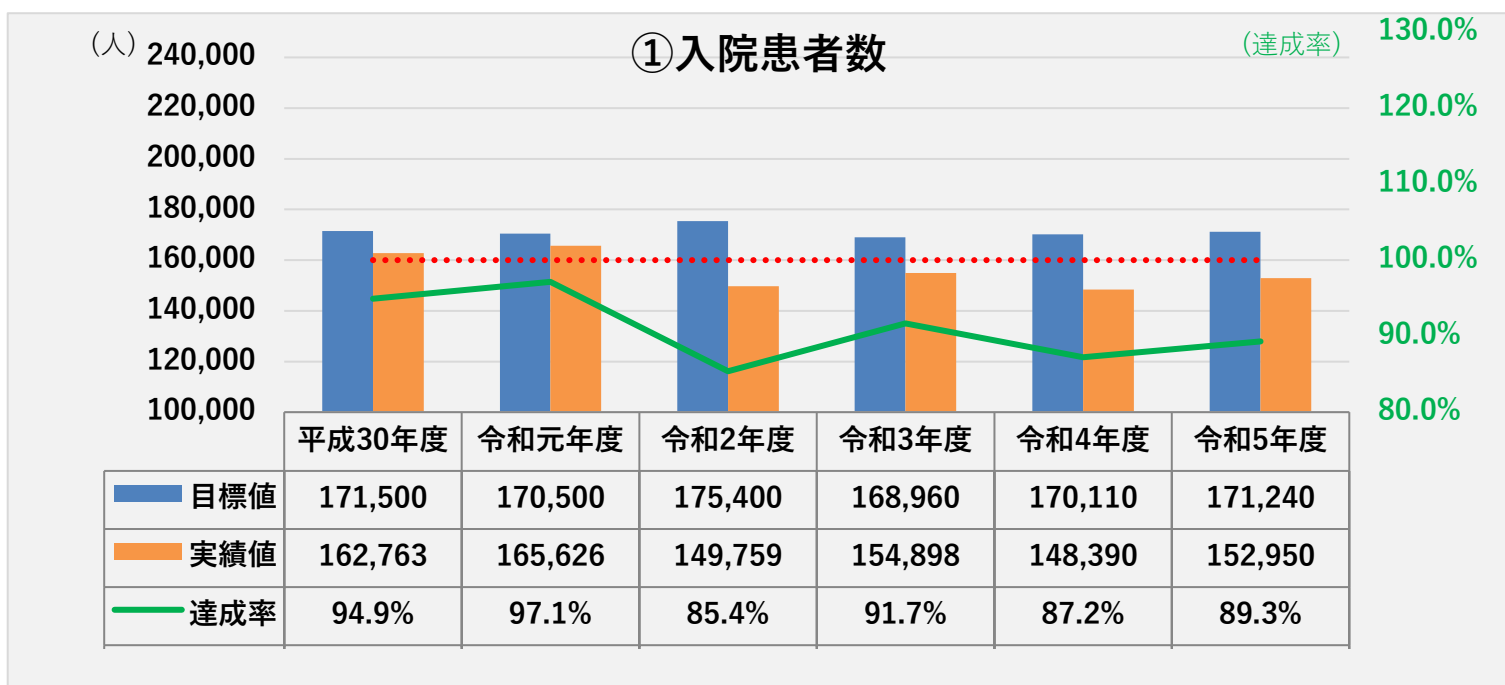
(経営指標)

項 目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
(1)	経常収支比率 (%)	91.8	97.4	101.0	101.1	95.2
(2)	医業収支比率 (%)	88.7	87.3	88.9	89.6	90.7
(3)	他会計繰入金対医業収益比率 (%)	3.9	3.7	4.3	4.4	3.7
(4)	職員給与費対医業収益比率 (%)	50.0	50.1	48.9	48.1	46.9
(5)	病床利用率 (%)	79.4	72.2	74.8	71.5	73.3
(6)	平均在院日数 (日)	11.2	10.7	11.0	10.7	10.4
(7)	患者紹介率 (%)	67.2	67.0	66.6	68.8	77.3
(8)	100床当たり一日平均患者数					
	入院(人)	87.0	78.8	81.6	78.2	80.4
	外来(人)	236.6	220.0	221.4	218.4	216.8
(9)	患者一人1日当たり診療収入					
	入院(円)	72,623	80,836	83,860	88,748	89,343
	外来(円)	22,288	24,289	24,712	25,235	27,446
(10)	職員一人1日当たり診療収入					
	医師(円)	288,646	275,777	283,868	295,608	306,123
	看護部門(円)	77,203	76,938	83,763	88,274	93,246
(11)	資金期末残高 (百万円)	12,872	10,631	9,906	10,280	10,426

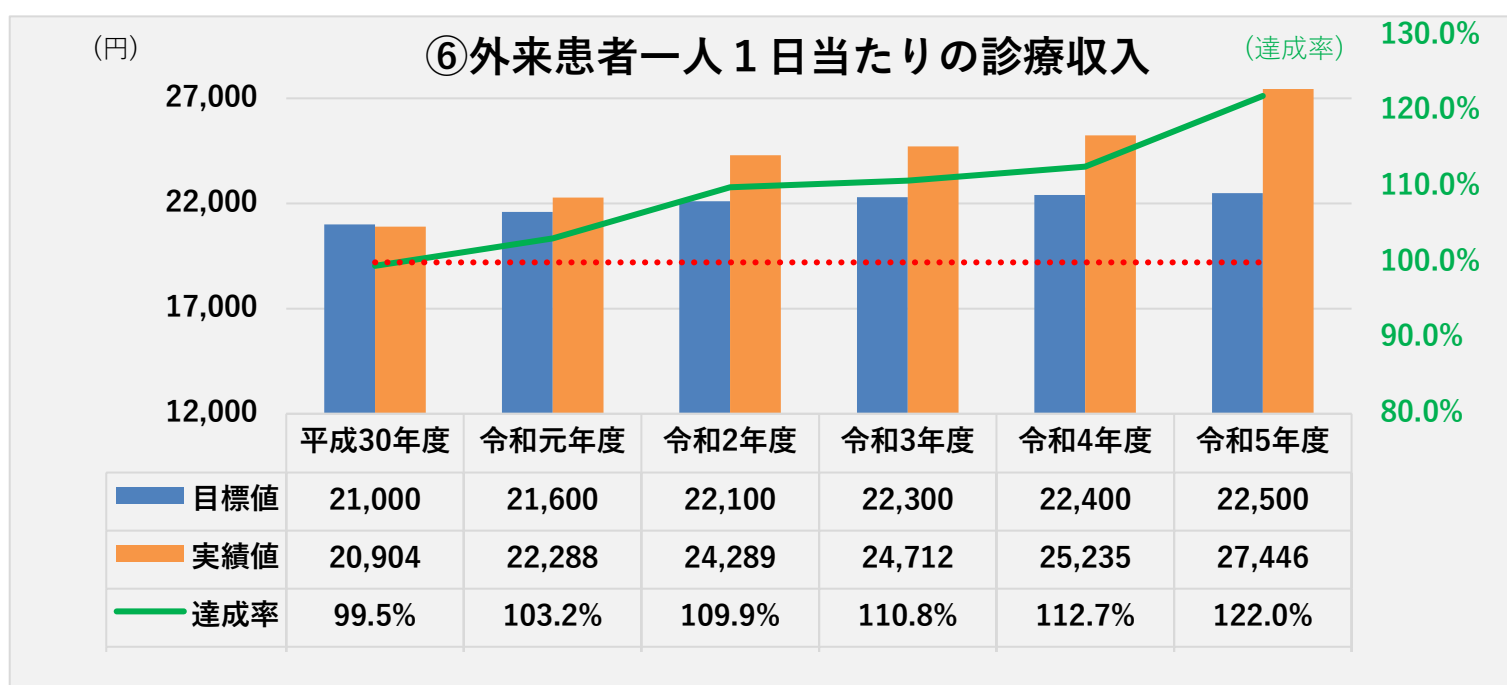
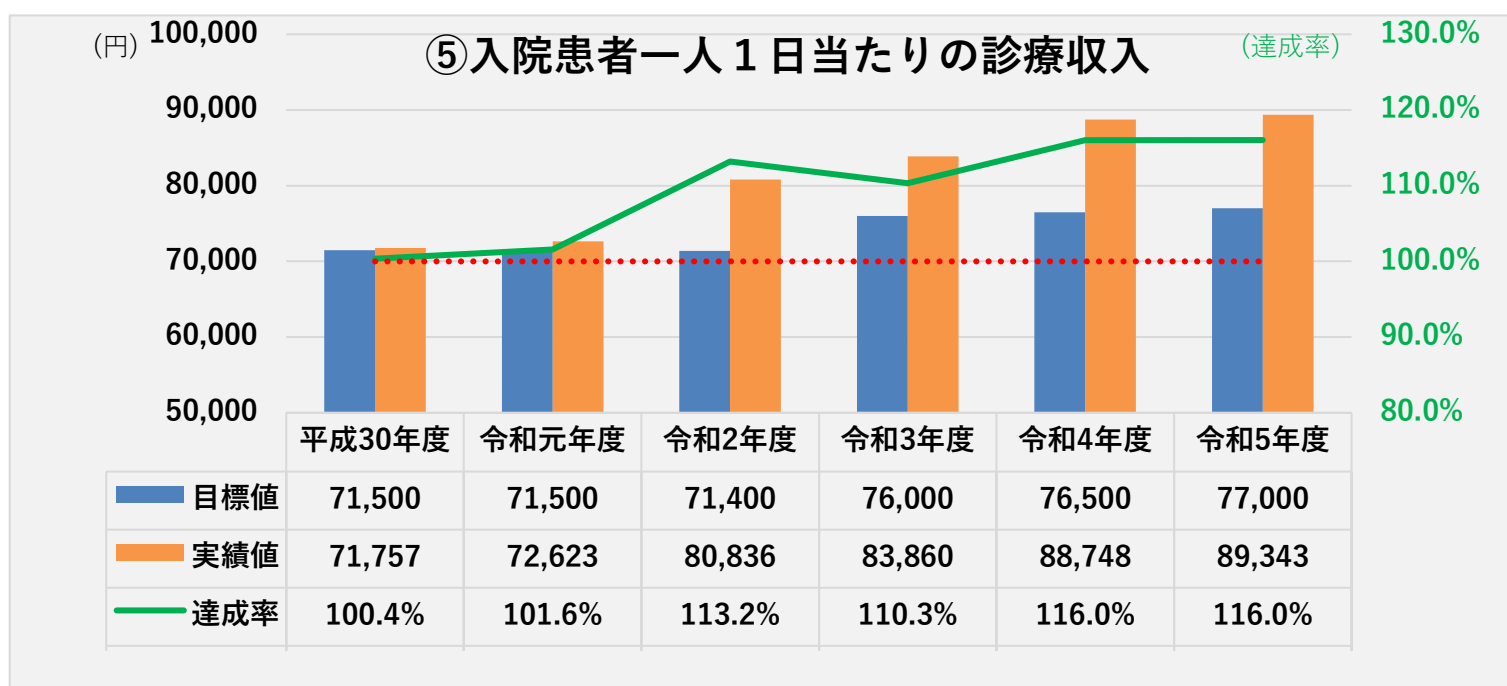
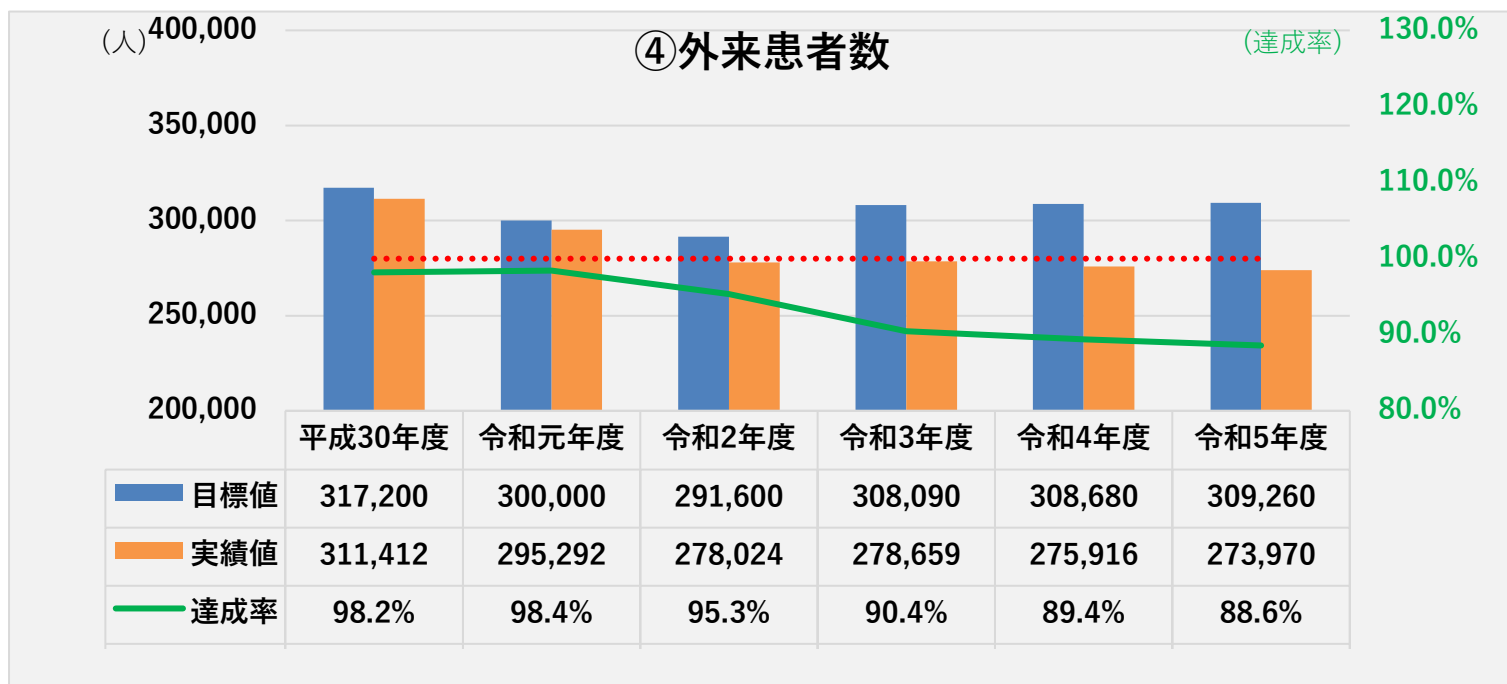
(収益額・患者数)

項 目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
(1)	入院収益 (千円)	12,023,171	12,101,949	12,989,681	13,169,287	13,664,947
(2)	外来収益 (千円)	6,569,969	6,741,340	6,886,174	6,962,812	7,519,391
(3)	入院患者数 (人)	165,626	149,759	154,898	148,390	152,950
(4)	外来患者数 (人)	295,292	278,024	278,659	275,916	273,970
	平日日数 (日)	240	243	242	243	243

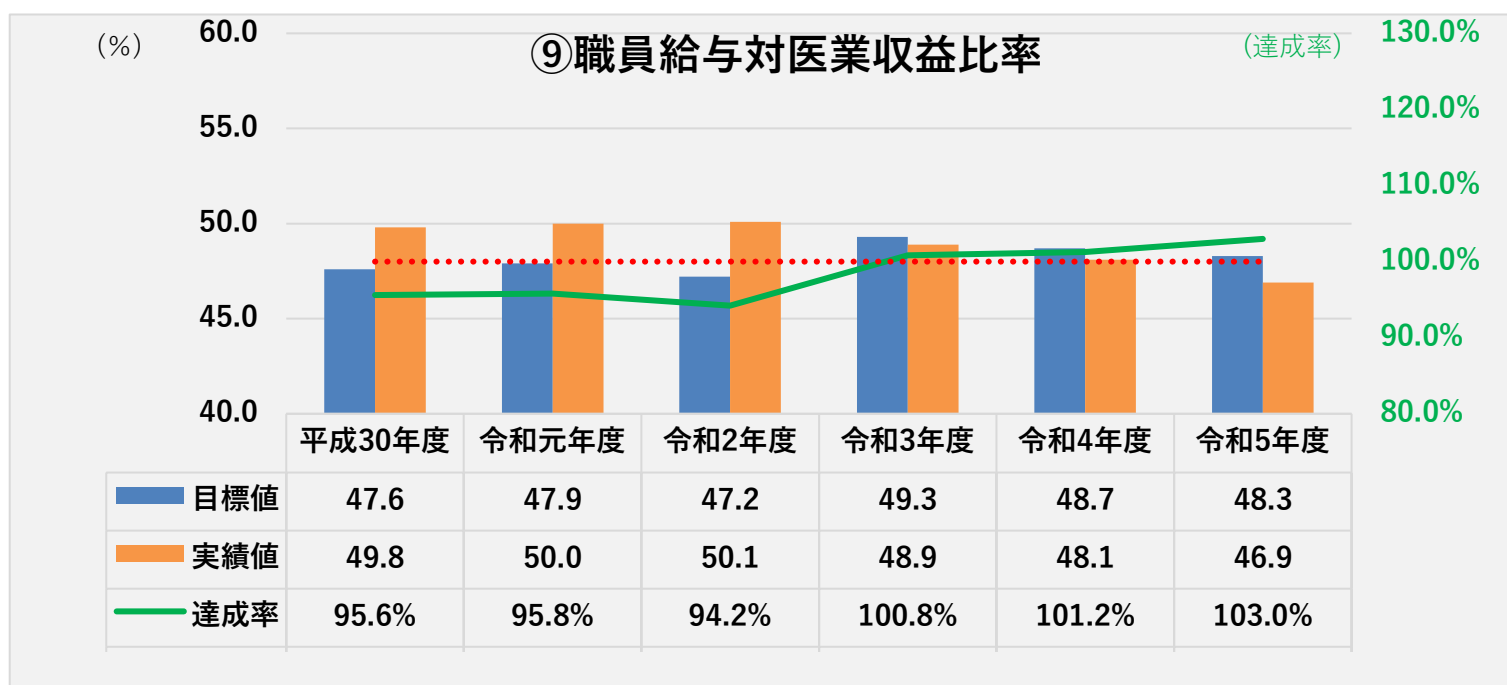
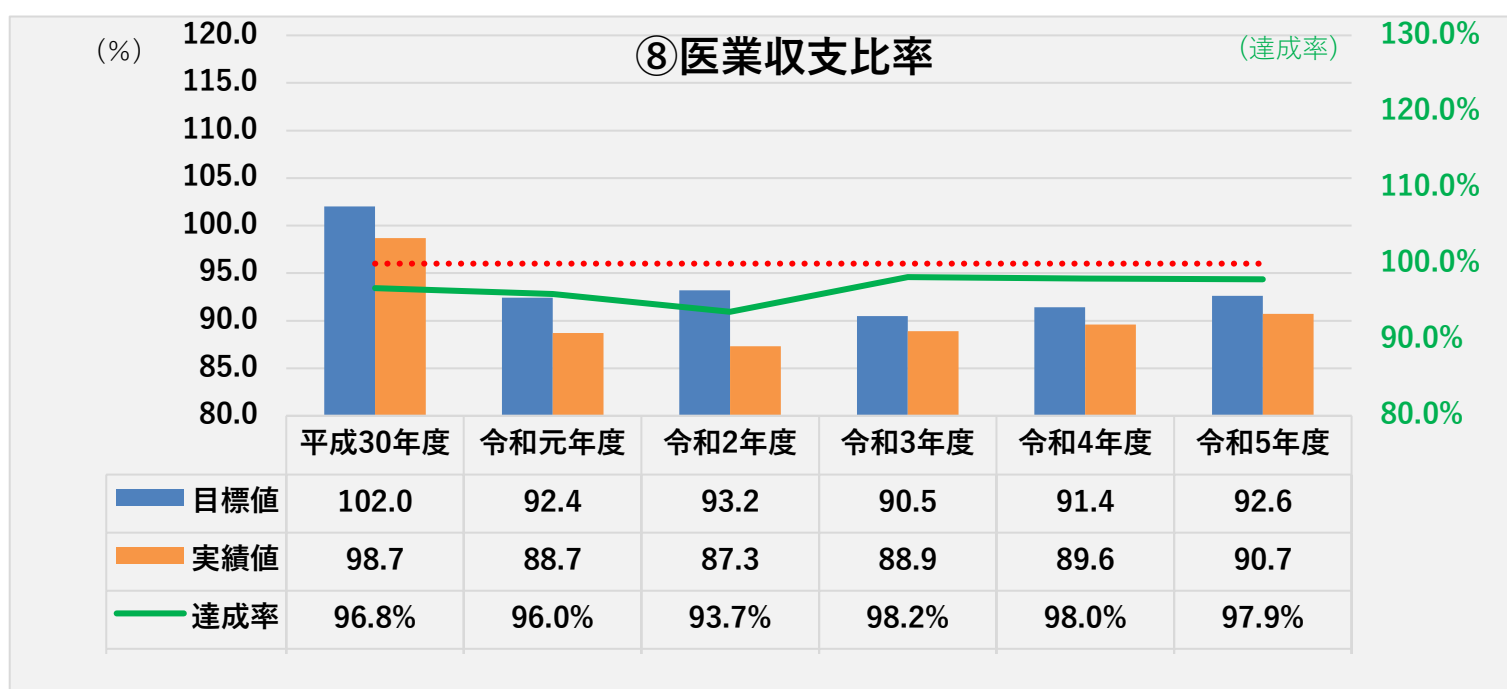
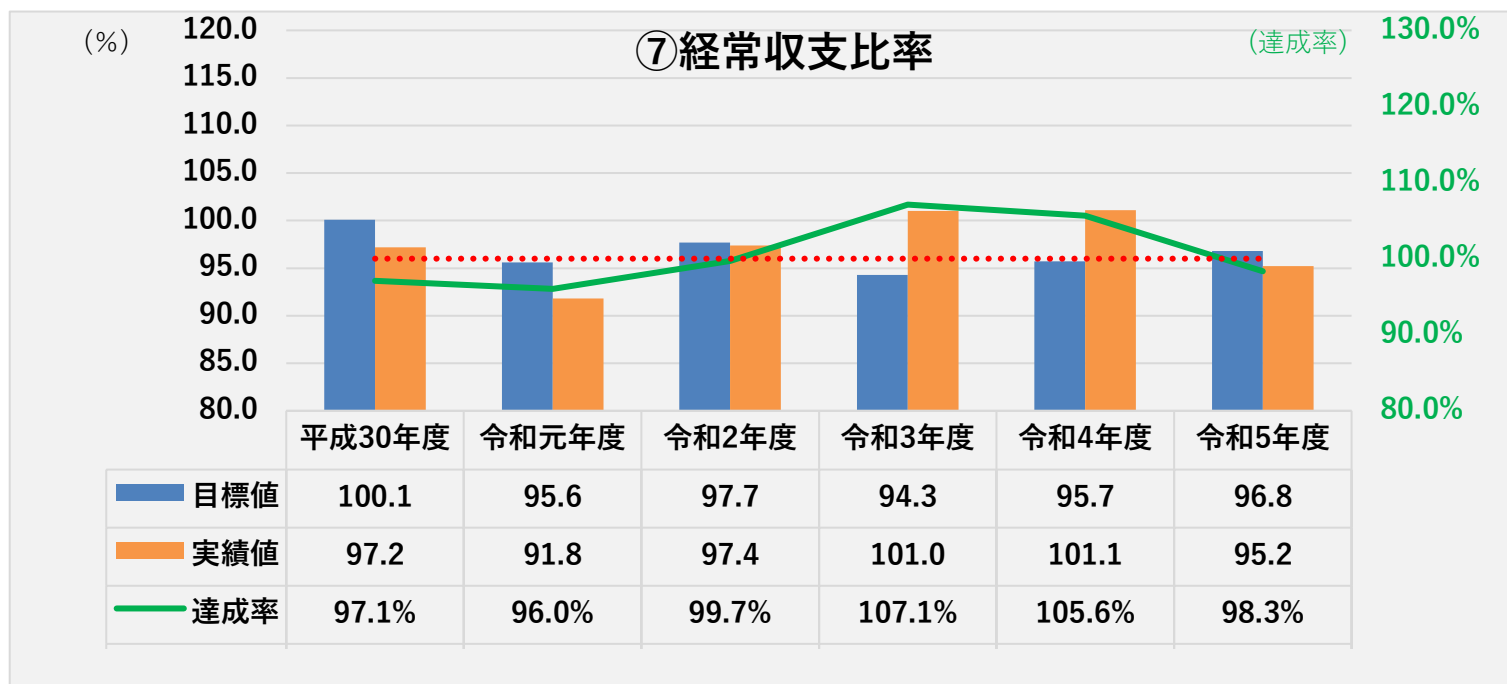
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



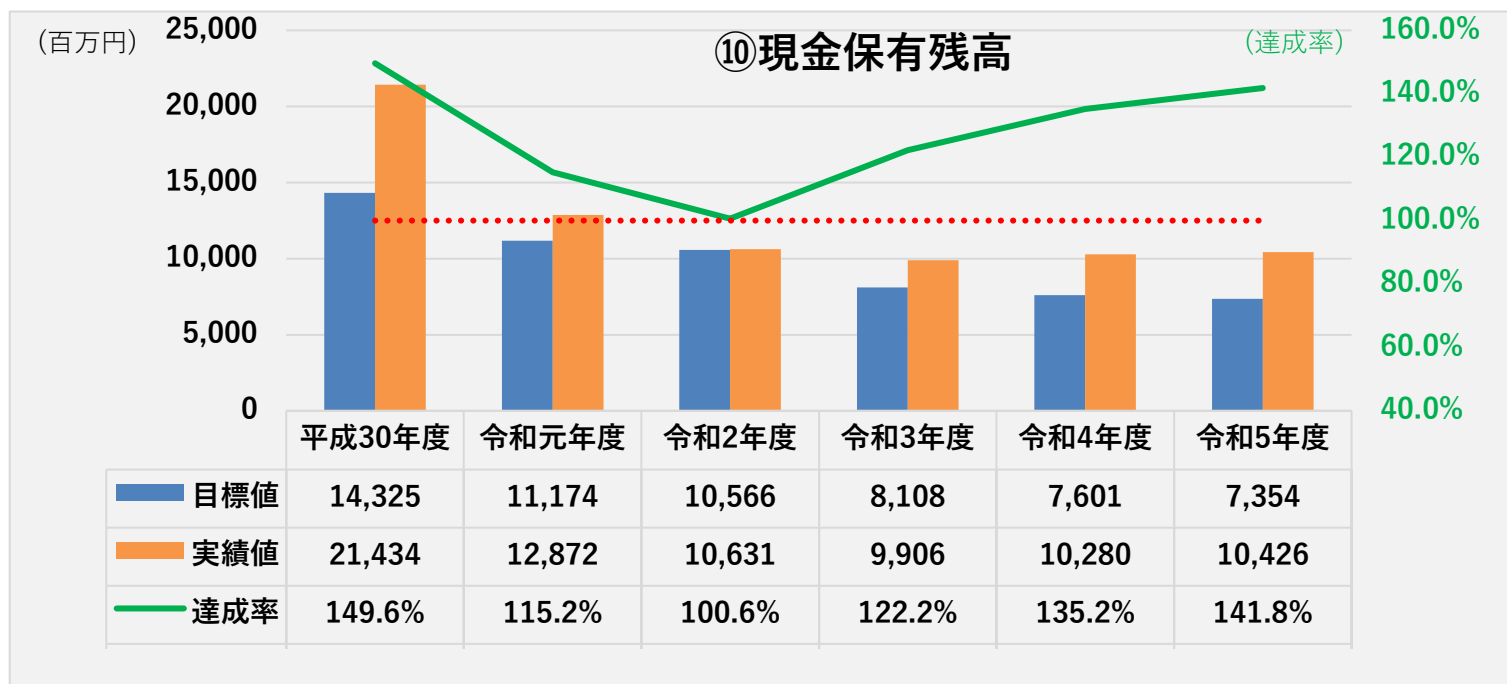
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



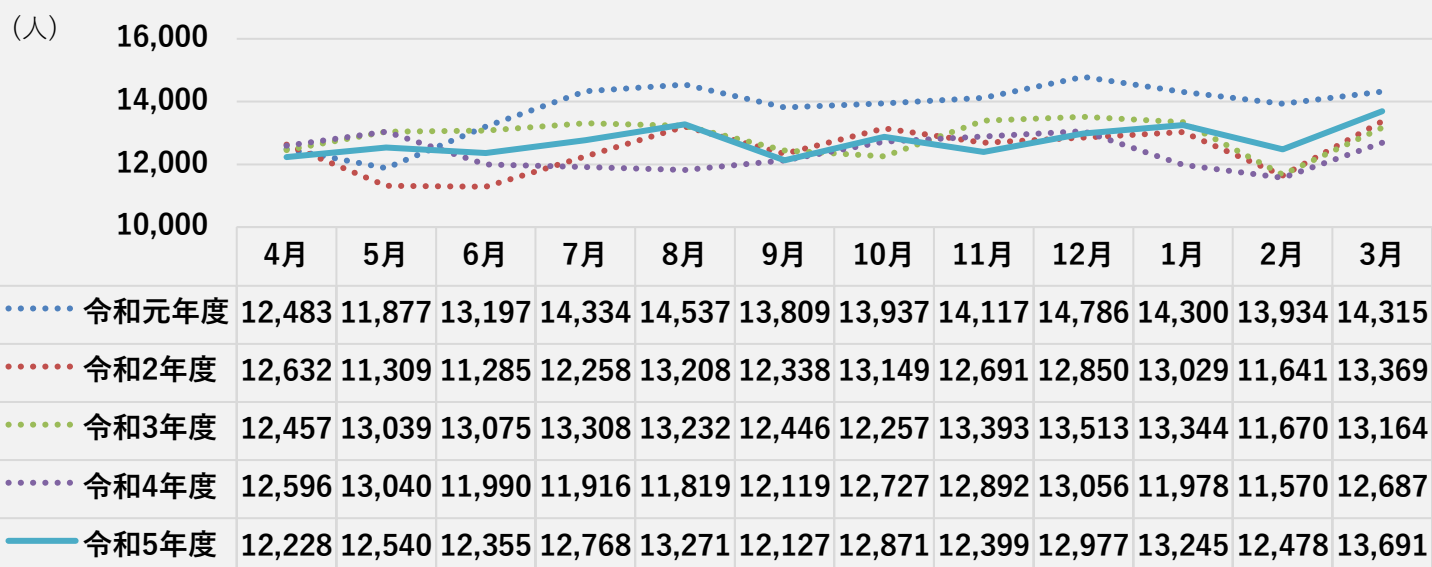
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



【参考】月別入院患者数の推移



【参考】月別外来患者数の推移

